

1 中学校学力向上対策3つの提言

◆ 県教育委員会は、平成28年2月に「中学校学力向上対策3つの提言」を策定し、**未来を切り拓く力と意欲を高める授業の実現**を目指しています。

提言1 学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底

- ① 生徒指導の三機能を意識した問題解決的な展開の授業を充実させるとともに、習熟度別指導を積極的に導入する。
- ② 教科の壁を越え、全ての教科に共通した授業改善の取組内容を設定し、その視点に基づく互見授業・授業研究を実施する。

提言2 学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築

- ① 小規模校は、校内研修の枠で、近隣の学校と合同教科部会をもち、指導案や評価問題、教材の作成等を行う。
- ② 複数の教科担任がいる学校は、教科担任の「タテ持ち」や日課表・週時程表に位置づけた教科部会の実施により、相談や切磋琢磨できる環境を作る。

提言3 「生徒と共に創る授業」の推進

- ① 生徒による授業評価を実施し、それを授業改善に反映する。
- ② 学校が目指す授業像を生徒と共有し、それに向かう学習集団としての目標を設定させ、適宜振り返り活動を行う。

2 3つの提言推進拠点校（県内7中学校）

◆ 令和2年度からは、県内7中学校を「中学校学力向上対策3つの提言」**推進拠点校**に指定しています。



3 拠点校のミッション

◆ 各「3つの提言」推進拠点校は、本提言に基づく各種取組の実践・検証・改善を通して、**学校の組織的な授業改善の推進や学習指導の充実**を図るとともに、**若手教員等の人材育成**に取り組んでいます。

